

鳥栖市学校給食基本理念

鳥栖市学校給食基本計画

(初稿)

平成23年7月 鳥栖市

目次

- ◇ 基本理念・基本計画（初稿）の位置づけについて
- ◇ 基本理念について
- ◇ 鳥栖市の学校給食の現状について
 - *食育面・衛生面
 - *鳥栖市の特徴
- ◇ 理想から見える課題について
- ◇ 課題の解決について

鳥栖市学校給食基本理念 基本計画（初稿）の位置づけ

「鳥栖市学校給食基本理念・基本計画」は、子どもの健全な心身の発達を促進することを目的に作成するものです。

市民の合意を具体的に得た理念・計画にするために、次のステップで策定します。

- ☆STEP 1 初稿の作成（市で作成）
- ☆STEP 2 各専門家による初稿の評価（第2稿）
⇒9月を目処に評価
- ☆STEP 3 市民による第2稿の評価（第3稿）

基本理念

平成23年7月 鳥栖市

学校給食の理想

子どもたちがこうなったらいいな

- 1 学校給食を食べて、おいしい笑顔になること
- 2 学校給食を食べて、元気に健やかに育つこと
- 3 学校給食を通して、正しい食習慣を身につけ、
大人になっても健康で暮らせること
- 4 学校給食をとおして、「協力することの大事さ」
「食事のマナー」、「命・生産者・自然に
対する感謝」の気持ちを育むこと
- 5 学校給食をとおして、郷土愛を育むこと

学校給食の理想

そのために給食に関わる人は

- 1 子どもたちが、安心して食べることのできる食材をつくること
- 2 子どもたちが、おいしい笑顔になれるような献立をつくること
- 3 子どもたちが、おいしい笑顔になれるような給食をつくること
- 4 子どもたちが、学校給食を「生きた教材」として体感できること

学校給食の理想

そのために子どもたちの親は

- 1 学校給食をとおして、食の大切さなどを子どもたちとともに学び、家庭において実践すること

鳥栖市の学校給食の現状
～食育面・衛生面～

平成23年7月 鳥栖市

学校給食を取巻く環境の変化

◇ 学校給食の役割が栄養補給から、食育推進に重点化

- 「栄養教諭」制度の創設
- 「食育基本法」の施行
- 「学習指導要領」の改訂
- 改正「学校給食法」の施行

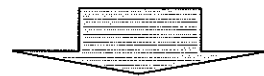
◇ 安全性については、より厳格化

- 「学校給食衛生管理基準」の施行

鳥栖市の状況（食育面）

- 全国同様、夜型生活の定着傾向が懸念
- 保護者の朝食欠食率の増加
- 保護者は学校給食に、栄養について過度の期待
- 学級担任が重要視する指導は「偏食」

児童生徒の食生活等実態調査結果（H17年度）
鳥栖市食育推進計画アンケート結果（H20年度）



鳥栖でも食育を推進することが必要

鳥栖市の状況（食育面）

栄養職員数（H23年度）

- 栄養教諭：2名
- 学校栄養職員：4名

給食時間について

- 食缶の返却時間などの制限による限られた給食時間

食に関する指導の現状

- 各学校個別での指導を実施
- 家庭・地域との連携が少ない

鳥栖市の状況（衛生面）

学校給食衛生管理基準では、

- 調理場は、「汚染作業区域」「非汚染作業区域」「その他の区域」に部屋単位で区分

鳥栖市の状況（衛生面）

◆汚染作業区域

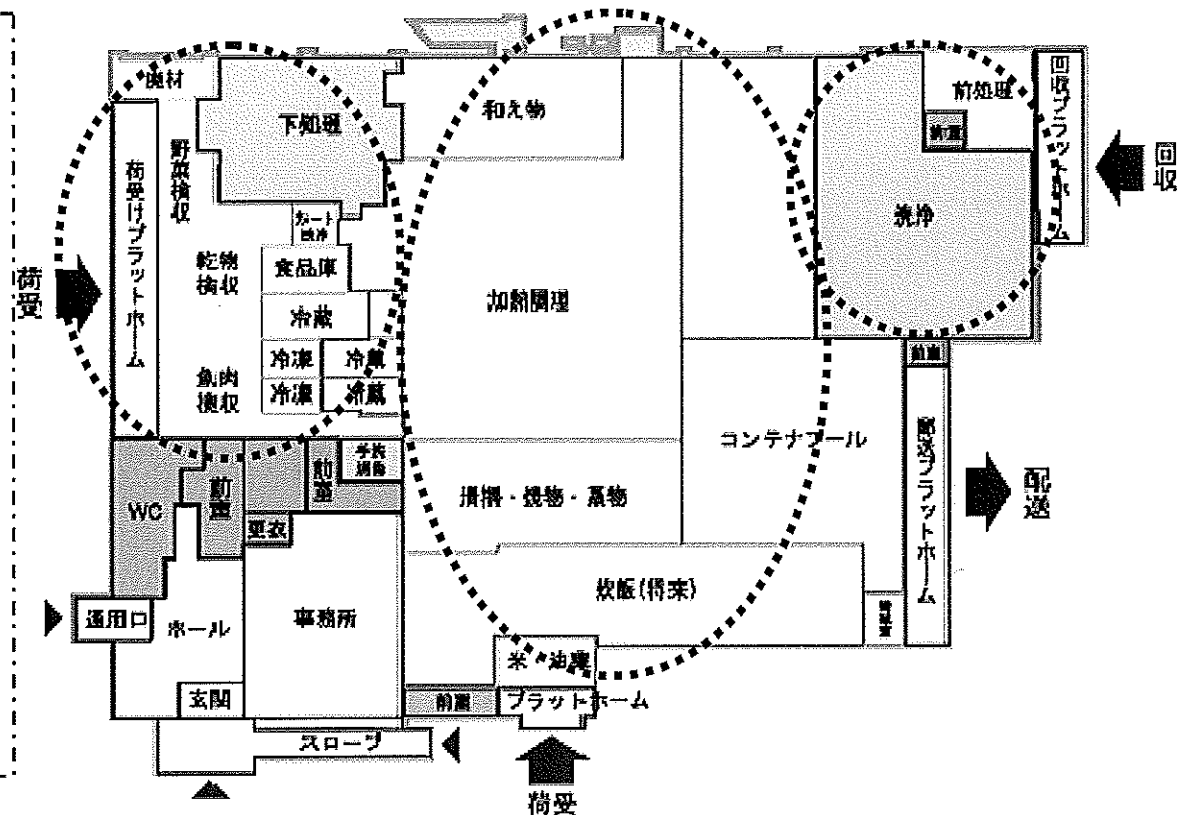
検収室、食品保管室
下処理室、
返却食器搬入、洗浄

◆非汚染作業区域

調理室、配膳室
食品・食缶の搬出

◆その他

更衣室、休憩室
便所、前室等



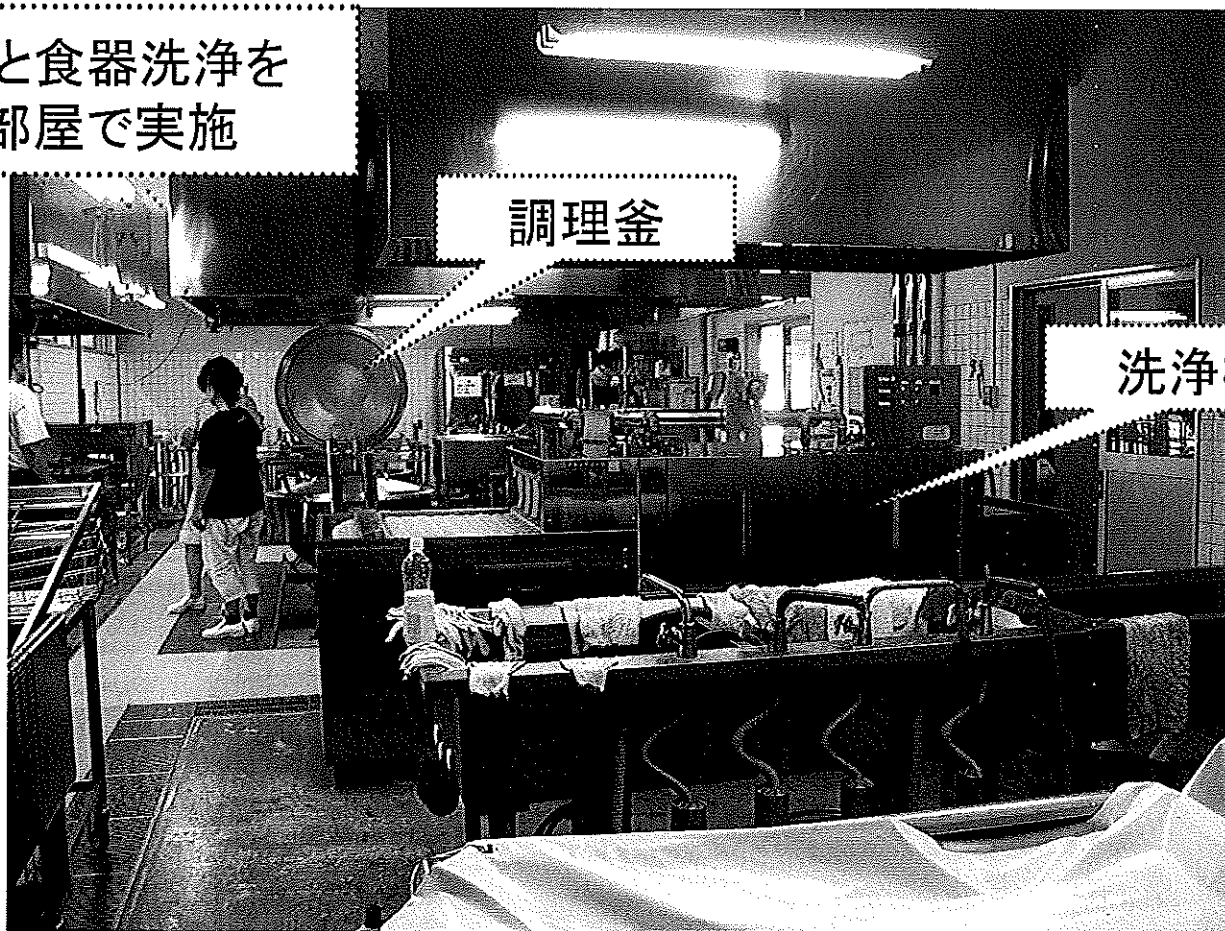
(例) 霧島市立隼人学校給食センター

鳥栖市の状況（衛生面）

鳥栖北小学校

（平成22年8月10日撮影）

調理と食器洗浄を
同じ部屋で実施



調理釜

洗浄機

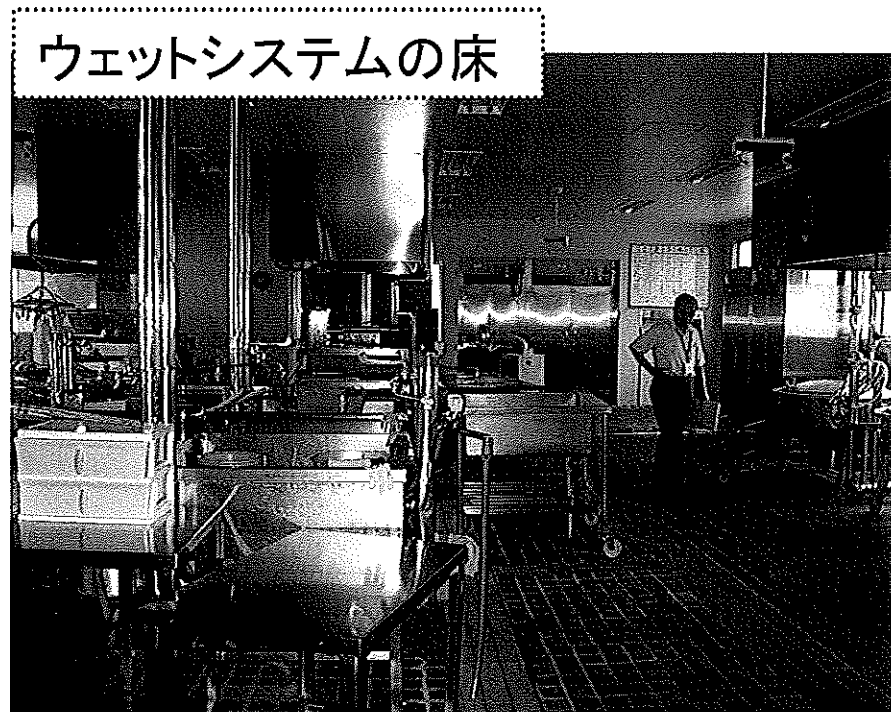
鳥栖市の状況（衛生面）

学校給食衛生管理基準では、

- ドライシステムの導入努力規定
- ウェットシステムのドライ運用義務

鳥栖市の状況（衛生面）

若葉小学校（平成22年8月9日撮影）



鳥栖北小学校（平成22年8月10日撮影）



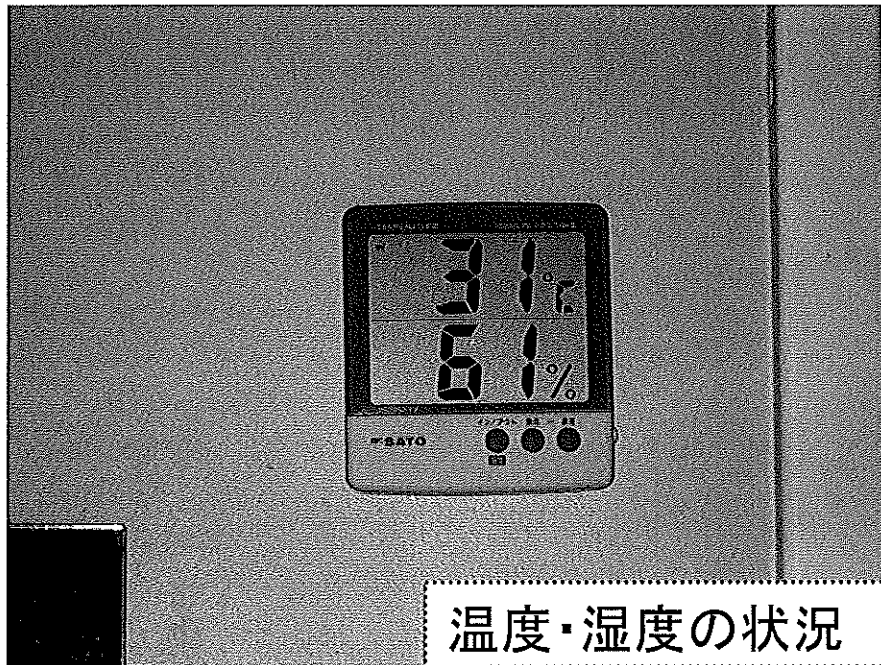
鳥栖市の状況（衛生面）

学校給食衛生管理基準では、

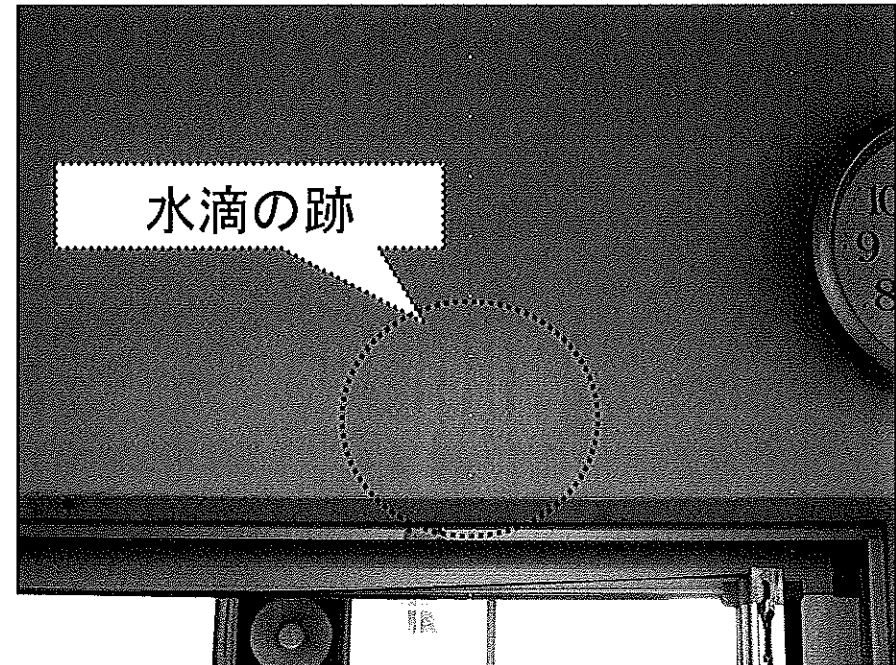
- 調理上は温度25℃以下・湿度80%以下

鳥栖市の状況（衛生面）

若葉小学校（平成22年8月9日撮影）



基里小学校（平成22年8月9日撮影）



鳥栖市の状況（衛生面）

学校給食衛生管理基準では

- 和え物、サラダ等の混ぜ合わせ、配食、盛り付けは清潔な場所行う
- 調理後冷却機等で冷却し、冷蔵庫等で保管

鳥栖市の学校給食室は

- 和え物室があるのは田代小学校のみ

鳥栖市の状況（衛生面）

学校給食衛生管理基準では

- 調理後2時間以内の給食に努める

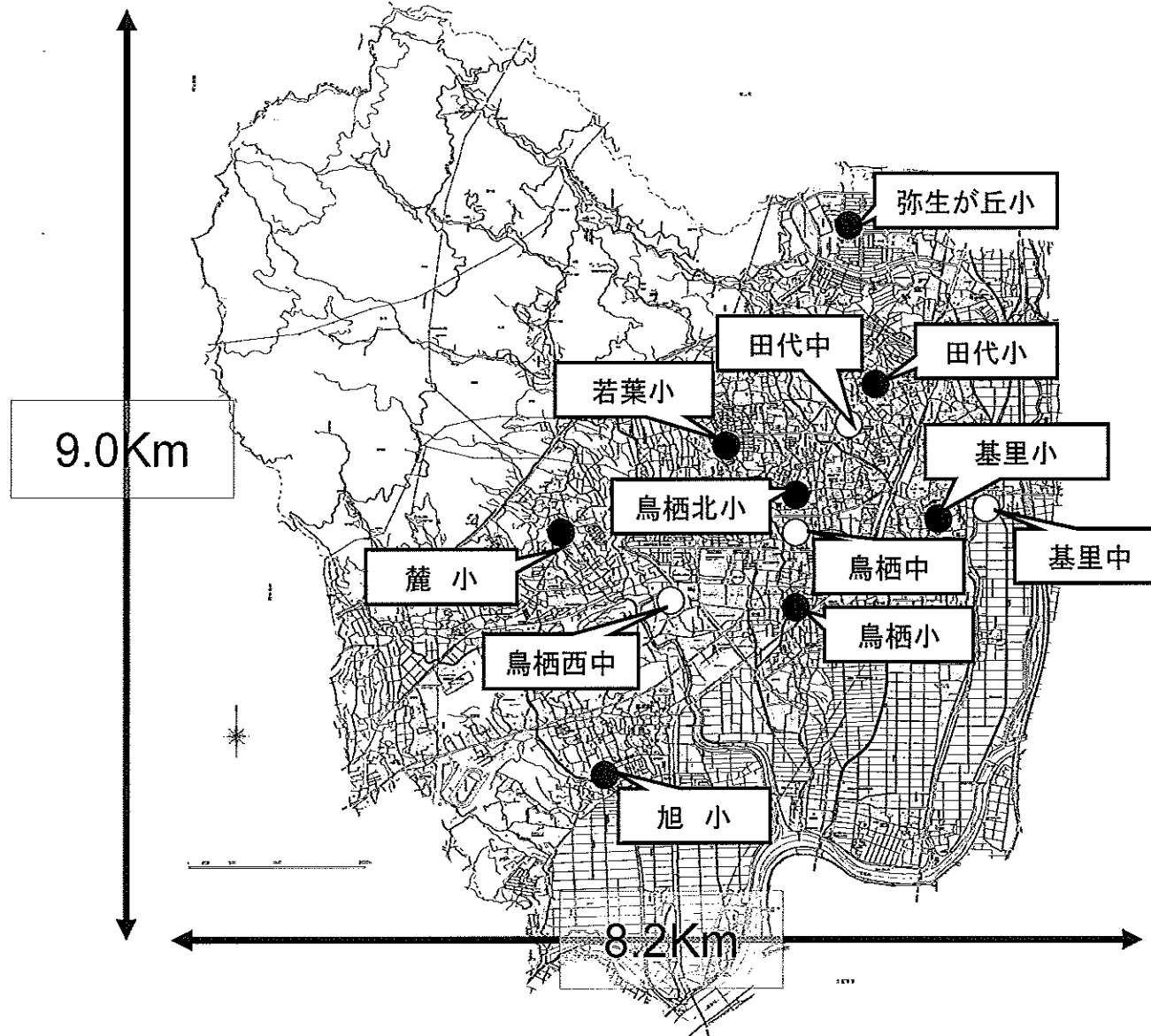
鳥栖市の田代小学校では

- 弥生が丘小と親子方式による給食のため、2段階での調理を実施。
- 2時間以内の供食を実施。

鳥栖市の学校給食の現状 ～鳥栖市の特徴～

平成23年7月 鳥栖市

市内の小学校の位置

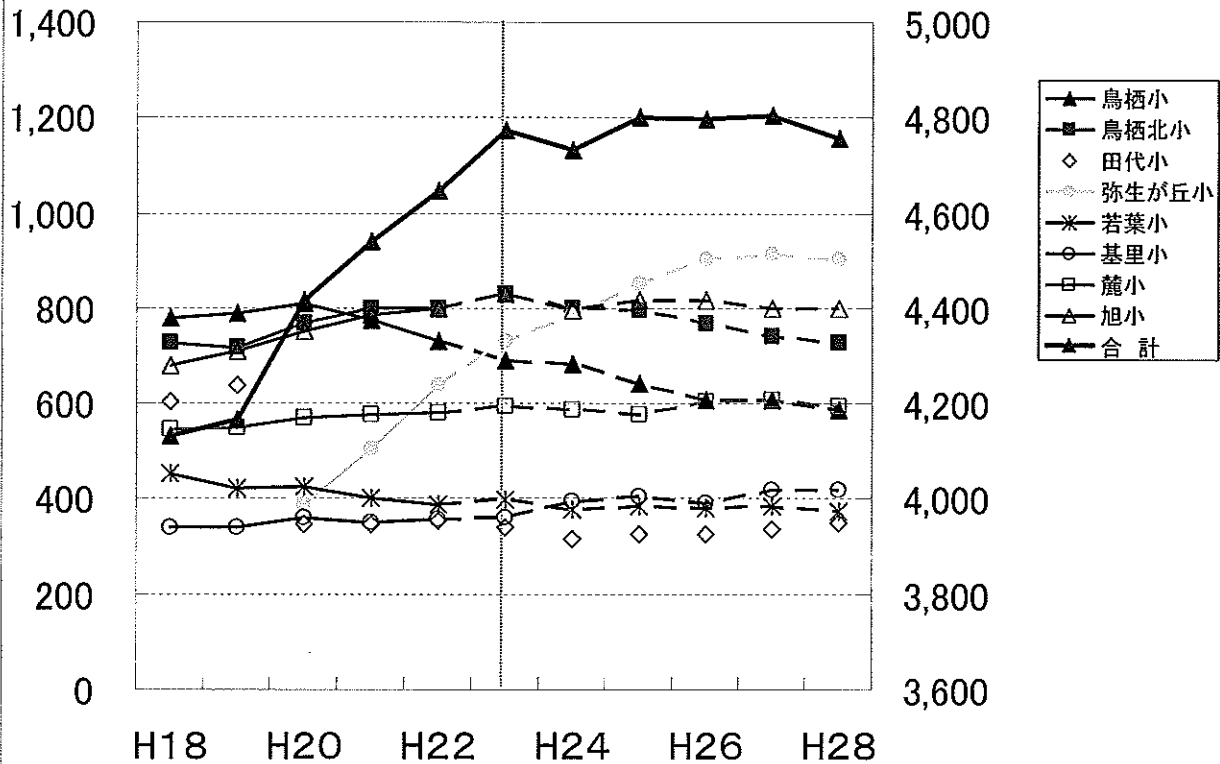


市内の児童数の推移

鳥栖市小学校児童数推移

各小学校別児童数

鳥栖市内児童数合計



(H24年度以降は見込)

◇増加傾向 ⇒ 2校

旭・弥生が丘

◇横ばい傾向 ⇒ 4校

鳥栖北・田代・基里・麓

◇減少傾向 ⇒ 2校

鳥栖・若葉

◇全体の児童数は

H27年度をピーク

小学校の給食運営費

全体経費は横ばい傾向

- 給食数は増加傾向
- 状況に応じ、改修・修繕を実施
- 人件費合計は減少傾向

(正規職員の減少、嘱託職員等の増加)

学校給食関係者の状況

「手作り給食」への高評価

- 調理は市直営で実施
- 給食調理に携わる関係者のノウハウやスキルは鳥栖市の財産

理想から見える課題

平成23年7月 鳥栖市

理想から見える課題

1 施設について

◇ 施設の抜本的改修を行うことが課題

衛生面の問題、増加傾向にある児童数の状況

2 学校給食を作る担い手について

◇ 「手作り給食」の伝統を継承する体制づくりが課題

理想から見える課題

3 食育について

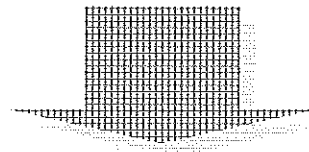
- ◇ 地産地消推進の仕組みづくりが課題
地元食材を使うことで郷土愛を育む
- ◇ 学校給食を通じた、食の教育の充実が課題
- ◇ 家庭に対する食の大切さの啓発充実が課題

課題の解決

平成23年7月 鳥栖市

課題解決の基本的な計画

- 〔課題1〕 施設について
- 施設の抜本的な改修



- 3,000～4,000食級の給食センターの建設

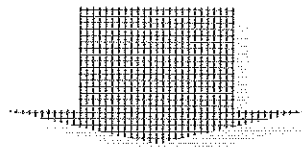
- * 敷地面積から勘案し、各学校の給食施設の改修は困難
- * 全ての学校の給食施設を改修するには、期間と財政面で非現実的
- * センターは「手作り給食」の良さを残せる規模が望ましい

(仮称) 「鳥栖市学校給食建設委員会」で推進

課題解決の基本的な計画

〔課題2〕 学校給食をつくる担い手について

○ 新たな担い手の育成



○ (仮称) 鳥栖市学校給食運営マニュアル作成

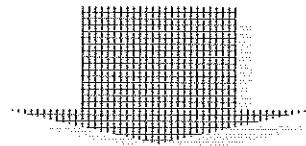
* 鳥栖市の宝である学校給食関係者の高いノウハウとスキルを確実に次代に引き継ぐことが必要

(仮称) 「鳥栖市学校給食運営委員会」で推進

課題解決の基本的な計画

〔課題3〕食育について

- 地産地消の仕組みづくり
- 学校給食を通じた食の教育の充実
- 家庭に対する食の大切さの啓発充実



- (仮称) 学校給食啓発マニュアル作成
- (仮称) 食材調達マニュアル作成

*市内の全ての子どもたちが、優れた食育を受ける仕組みが必要

*市内の全ての家庭で、学校給食を通して学んだことを実践できる
仕組みが必要

(仮称) 「鳥栖市学校給食啓発委員会」で推進

(仮称) 「鳥栖市学校給食地産地消委員会」で推進